

## 5. 親子のコミュニケーション③<子どもを知る>

### ② 子どもの「大切なもの」をみつけよう

#### 《ねらい》

○子どもだった頃に大切にしていたもの・時間・ことばを思い出すことで、子どもの気持ちを理解し、親として適切なかかわり方をしようとする意識を高める。

#### 《準備物》

- ファシリテータ：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい		
		<p>普段はつい大人目で見ても子どもを見てしまいがちですが、子どもの気持ちになって見てみると、いつもと違う見方ができるかもしれません。今日は子どもの気持ちについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。</p>		
		2. アイスブレイク ・ジャンケンチャンピオン	アイスブレイク編P. 7 参照	・4人のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6 参照	
展開 (30)	5	4. ワークシートに記入する。 ・子どものころ大切にしていたもの (ワーク1)	4. あなたが子どもの頃に大切にしていたものは何ですか。その理由も思い出して <b>ワーク1</b> に書き出しましょう。	・楽しかった時間や言われた言葉なども入る。 例：旅行にいったこと、ほめられたことなど
	5	5. グループで紹介しあう。	5. あなたの大切にしていたものをグループで紹介しましょう。そのときの気持ちやエピソードもあれば紹介してください。	
	5	6. ワークシートに記入する。 ・我が子の「大切なもの」 (ワーク2)	6. お子さんの大切にしているものは何ですか。お子さんの様子や言葉をおもいだして <b>ワーク2</b> に書き出してみましょう。	
	15	7. グループで話し合う。 ・子どもにとって「大切なもの」 (ワーク3)	7. お子さんの「大切なもの」を紹介しながら、子どもにとって「大切なもの」についてグループで話し合い <b>ワーク3</b> にまとめましょう。	
まとめ (10)	5	8. ふりかえり	8. 今日を振り返って、気づいたことをワークシートに書いてください。	・時間があれば抽出グループの発表や個人発表などしてもよい。
	5	9. まとめ	<p>大切なものの形は違って今も昔も子どもの感性は変わりません。大人になった私たちは子どもたちを大人目で見ていることはなかったでしょうか。子どもが感じる喜びや楽しさ、嬉しさを感じるセンサーに気づくことで子どもの世界を理解することにつながっていきます。おうちの方の大切だったものについて伝えながら、「大切なもの」について子どもと話し合ってみてください。</p>	

# 子どもの「大切なもの」を見つけよう

大人になることは、悲しいことに、自分が子どもだった頃の気持ちを忘れてしまうことだとも言われます。そこで、今日は、自分が子どもの頃大切にしていた宝物を思い出して、子どもの頃にタイムスリップしてみましょう。ひよっとすると、子どもにとって大切なものは、今も昔も大差ないかも知れませんね。

今日、おうちに帰って、自分が「大切にしていたもの」わが子が「大切にしているもの」について、親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。子どもの心が見えるかも知れません。

**ワーク1** あなたが子どもの頃に「大切にしていたもの」を思い出してみよう。(大切にしていたものは物だけでなく時間やことばも含まれます。)

大切にしていたもの	その理由

**ワーク2** わが子の「大切なもの」を思い浮かべてみましょう。

**ワーク3** 子どもにとって「大切なもの」について話し合ってみましょう。

- 
- 
-



今日を振り返って